

baudroie inc.

2022年2月期 第3四半期
決算補足説明資料

株式会社 ボードルア

2022年1月



Role Inc.

- 01. 会社概要 P3
- 02. 業績ハイライト P7
- 03. APPENDIX P14

baudr

会社概要

Company Introduction

会社概要

商号

株式会社 **ボードルア**

設立

2007年4月

取締役

代表取締役社長 富永 重寛
代表取締役 藤井 和也
取締役 程島 義明
社外取締役 安藤 温
常勤監査役 竹内 靖浩
常勤監査役 岡本 俊夫
監査役 尾中 直也
監査役 西川 研一

決算期

2月

社員数

644名

(正社員/契約社員含)*2021年11月現在

業務内容

ITインフラストラクチャ事業

主要取引先

ソフトバンク株式会社
KDDI株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社野村総合研究所
住信SBIネット銀行株式会社

本社

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー37階

第二オフィス

東京都港区六本木7-3-12 六本木インターナショナルビル7階

第三オフィス

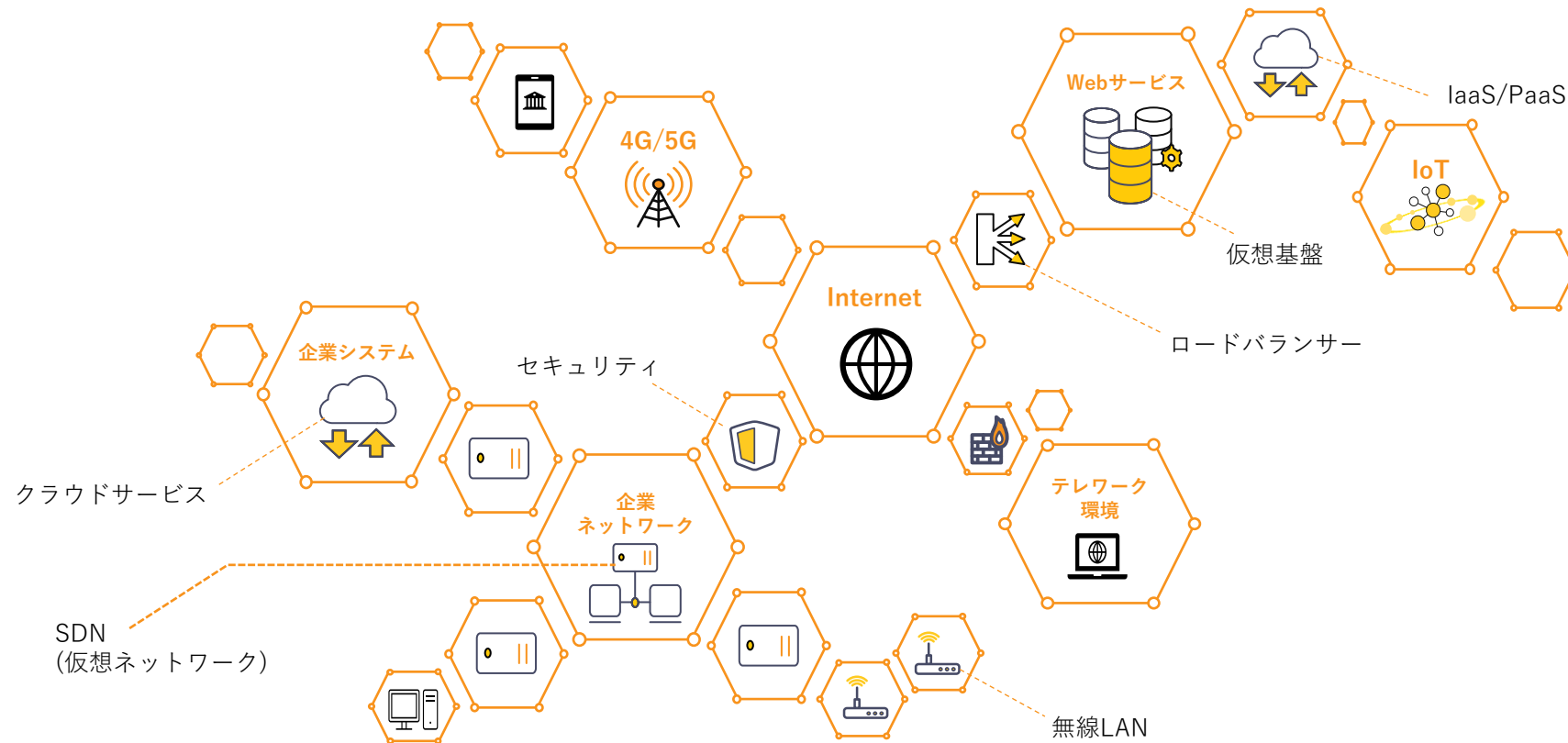
東京都港区六本木3-10-9 榎川誠志堂ビル4階、6階

有資格者

CCNA: 603名
CCNP: 432名
クラウド関連資格: 41名 (AWS) 他
*2021年11月現在

ITインフラストラクチャサービスとは

様々なアプリケーション・システムを利用するために、システムを動作させるサーバー、システムに接続するためのネットワーク、安全な通信・情報を守るためのセキュリティなど複雑なITインフラストラクチャを設計・構築することや、運用・保守を請け負うこと。これらが構成されITインフラストラクチャは今や生活インフラの一部となっている。



※クラウドサービス(IaaS/PaaS)：主にクラウドコンピューティングサービスを指す。

※SDN：ソフトウェアによって仮想的なネットワーク環境を作る技術。物理的な制約に縛られず、ネットワーク構成の柔軟な設定が可能。

※仮想基盤：1つの物理機器上で、複数のホスト・OSを動作させる仕組み。

※ロードバランサー：サーバを複数台で構成した場合に、端末からの通信をリソース毎に適切に振り分ける仕組み。

※セキュリティ：ファイアウォール、IPS/IDS、サンドボックス、Webフィルタリング、など。

事業領域

ITインフラストラクチャサービスに特化した専門事業者

ITインフラストラクチャサービス市場の位置づけ

2020年における国内IT市場全体は17.9兆
そのうちITインフラストラクチャサービス市場は1.7兆円



ITインフラストラクチャ分野で成長が著しい技術領域



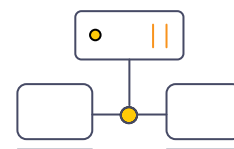
クラウド



セキュリティ



無線LAN



SDN
(Software-Defined Networking)



仮想基盤



ロードバランサー

※出典：IDC Japanプレスリリース「新型コロナウイルス感染症の2021年3月末時点での影響を考慮した国内IT市場予測アップデート」(2021年5月25日)

※出典：IDC Japanプレスリリース「国内ITインフラストラクチャサービス市場予測を発表」(2021年5月24日)

業績ハイライト

Performance Highlight

業績ハイライト

- ✓ 売上高は**28.7億円**（前期比**127.8%**）
- ✓ 営業利益**4.6億円**（前期比**132.5%**）と堅調に推移
- ✓ 営業強化によりエンタープライズ顧客取引社数増加（**7社増**）、
先端技術サービスの拡大（**2021年2月期通期売上へ到達**）が業績を牽引

単位(千円)	2021年2期 3Q	2022年2期 3Q	前期比
売上高	2,248,692	2,873,252	127.8%
営業利益	352,745	467,268	132.5%
税引前純利益	414,205	524,809	126.7%
純利益	271,588	362,525	133.5%

売上高進捗率

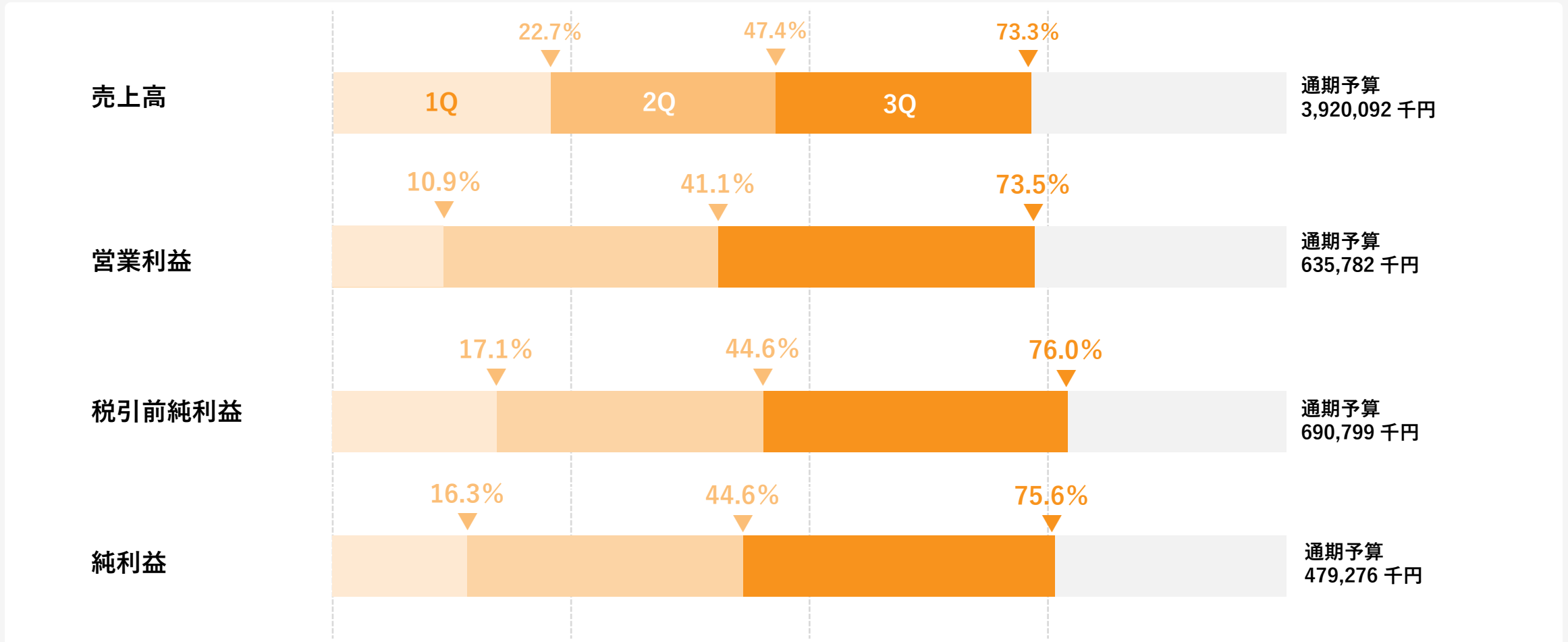
- ✓ 売上は前期同様、好況な需要に支えられ予算に対し順調に進捗
- ✓ 営業利益は前期の進捗率に対し**4.3**ポイント増加※
- ✓ 四半期純利益の進捗率は前期比**10.3**ポイント増加

単位(千円)	2021年2期 通期	2021年2期 3Q	進捗率	2022年2期 通期(修正後予算)	2022年2期 3Q	進捗率
売上高	3,084,973	2,248,692	72.9%	3,920,092	2,873,252	73.3%
営業利益	509,439	352,745	69.2%	635,782	467,268	73.5% ↑
税引前純利益	591,723	414,205	70.0%	690,799	524,809	76.0%
純利益	415,711	271,588	65.3%	479,276	362,525	75.6% ↑

※公募増資等により資本金等が増加し、外形標準課税適用対象となったことに伴い、租税公課（販管費）が大幅に増加しているものの、経営の効率化推進により、進捗率は増加

通期予算進捗状況

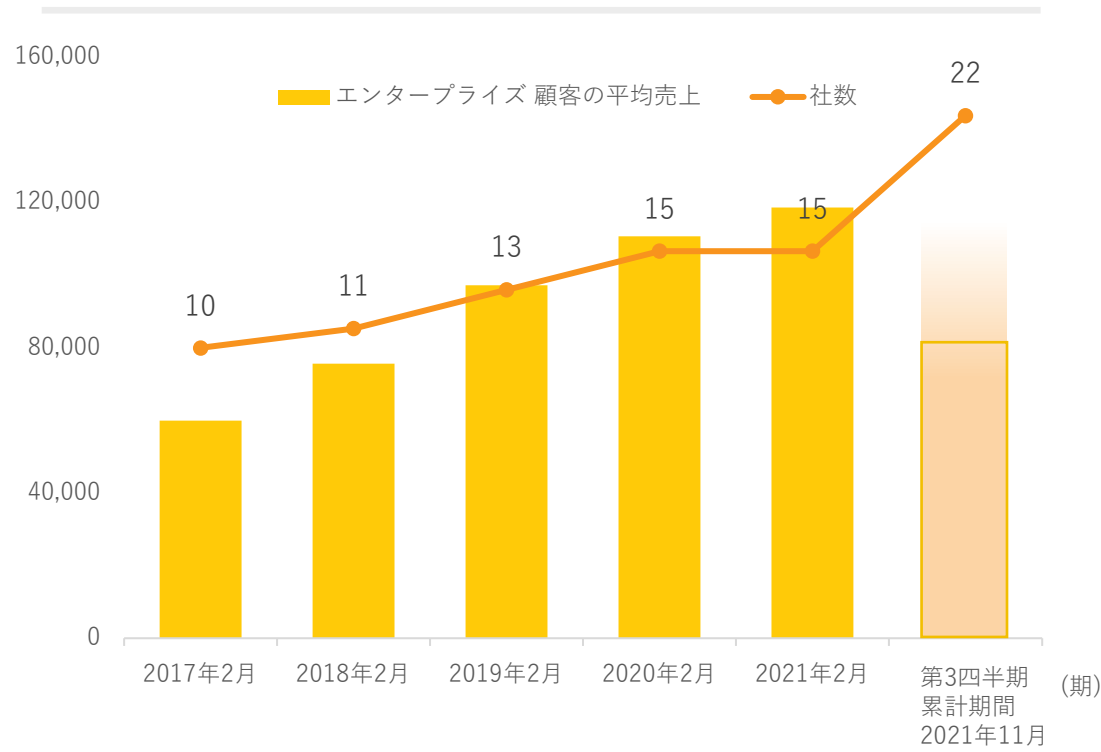
3Qは高い進捗率で着地、プロジェクト検収の多い期末に向けて堅調に推移



エンタープライズ顧客売上

✓ 取引社数は前期より**7**社増加、平均売上も堅調に積み上げ

エンタープライズ顧客の1社あたり平均売上と社数



発注額が大きく、案件の拡大深耕がしやすい
エンタープライズ顧客を積極的に受注

積極的なアウトバウンド営業

営業統括本部を組成し、エンタープライズ顧客・先端技術分野PJを専門に営業行う「ソリューション部」を新設
待ちの姿勢から攻めの姿勢へ

積極的な実績構築

当初は小さな案件でもエンタープライズであれば積極的に受注して取引実績を構築し、その後深堀を推進へ

エンタープライズにブリッジSEを配置

ブリッジSEを活用した受注活動を行う

モデルケースの横展開

業界大手で評価されたケースをベストプラクティス化し、展開可能な業種や事業者へモデルケースとして横展開

※ 日経225、日経400、日経500いずれかの採用企業または売上500億円以上の企業をエンタープライズ顧客として定義

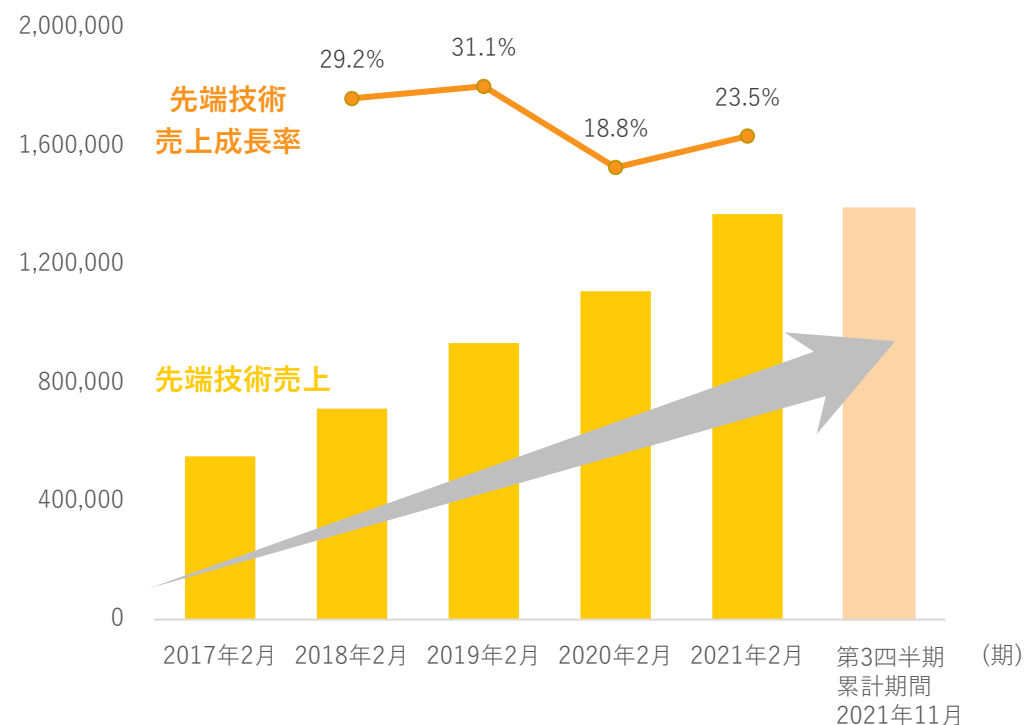
先端技術分野売上

✓ 2021年2月期売上を3Qで達成、通期決算に向けて進捗

高い成長性が期待される先端技術分野

市場規模予想	市場のCAGR	当社の※6 売上比率
ワイヤレス <small>(グローバル市場)</small> 1,306 億米ドル <small>(2026年)※1</small>	15%	15% ↑4p
ロードバランサー <small>(グローバル市場)</small> 50 億米ドル <small>(2023年)※2</small>	14%	19% ↑2p
ネットワーク 仮想化 <small>(国内市場)</small> 704 億円 <small>(2025年)※3</small>	5%	10% →0p
クラウド <small>(国内市場)</small> 2.5 兆円 <small>(2025年)※4</small>	19%	26% ↑2p
セキュリティ <small>(国内市場)</small> 5,033 億円 <small>(2025年)※5</small>	6%	11% ↓1p

先端技術サービスの売上推移

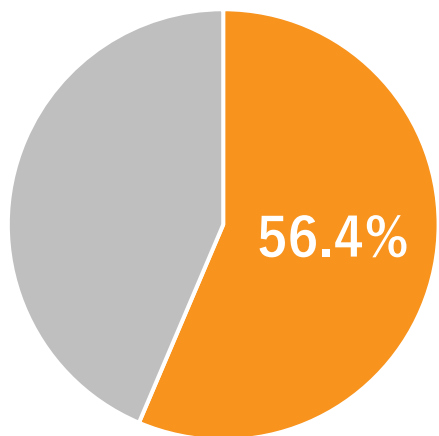


※1 出典：BCC Research 「世界のワイヤレス接続市場」 (株式会社グローバルインフォメーション)
 ※2 出典：MarketsandMarkets 「ロードバランサー (負荷分散装置) の世界市場」 (株式会社グローバルインフォメーション)
 ※3 出典：IDC Japan プレスリリース 「国内ネットワーク仮想化/自動化市場およびNFV市場予測を発表」 (2021年5月10日)
 ※4 出典：IDC Japan プレスリリース 「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」 (2021年3月8日)
 ※5 出典：IDC Japan プレスリリース 「2020年下半期 国内情報セキュリティ市場予測を発表」 (2021年5月27日)
 ※6 「当社の売上比率」の増減は2021年2月期実績より比較、また、2つ以上の分野の重複売上も含む

ストック型売上

- ✓ ストック型売上割合はエンタープライズ顧客拡大の要因で
前期より**1.8**ポイント増加

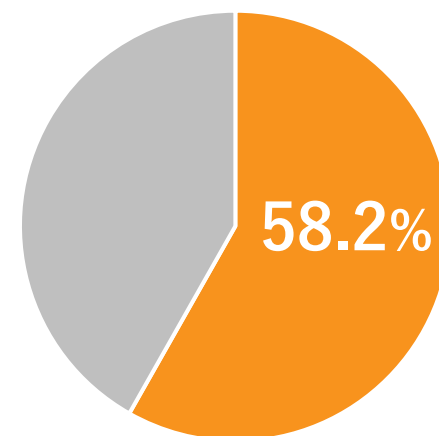
2021年2月期



ストック型売上 1,743,552 千円

総売上 3,084,937 千円

2022年2月期 第3四半期



ストック型売上 1,673,998 千円

総売上 2,873,252 千円

Appendix

業績推移

単位(千円)

	2017年2月期 第10期	2018年2月期 第11期	2019年2月期 第12期	2020年2月期 第13期	2021年2月期 第14期
売上高	1,626,968	2,087,013	2,261,561	2,648,008	3,084,973
営業利益	131,471	230,012	274,696	409,339	509,439
経常利益	116,255	217,992	237,982	395,841	542,494
当期純利益	79,757	135,544	162,557	278,824	415,711
営業利益率(%)	8.1%	11.0%	12.1%	15.5%	16.5%
経常利益率(%)	7.1%	10.4%	10.5%	14.9%	17.6%
売上高成長率(%)	-	28.3%	8.4%	17.1%	16.5%
営業利益成長率(%)	-	75.0%	19.4%	49.0%	24.5%

業績推移

- 売上は堅調に伸長
- ネットワークへの特化により営業利益率の伸長が顕著

要因/変化点

サービスの進化に伴い
顧客システムが複雑化

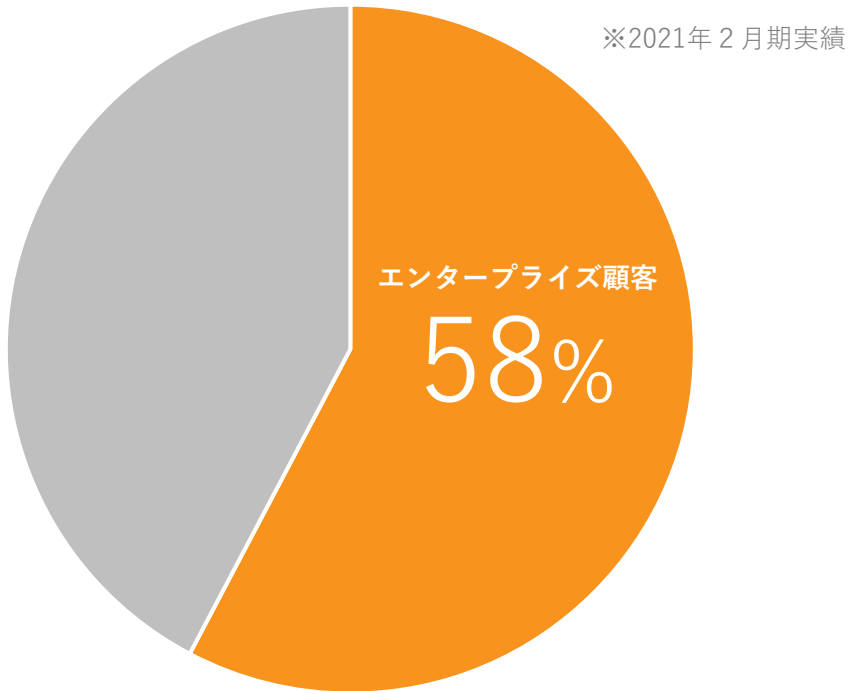


当社のように
専門性の高い企業
が求められている

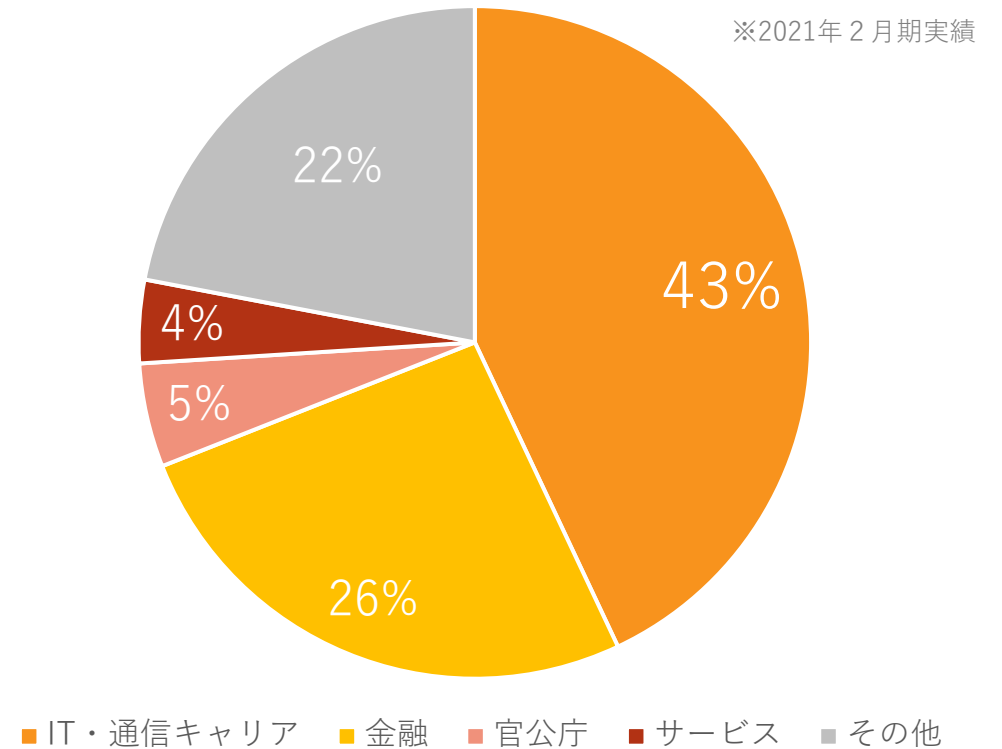
顧客構成

大手事業者向けが多く、業種構成は偏りが少ない

エンタープライズ顧客の売上構成



顧客業種別売上構成



システム開発会社及びファシリティ工事業者との違い

当社はアプリやミドルウェア、通信工事を行わず、ITインフラ領域に専門特化

	システム開発会社	baudroie inc.	ファシリティ 工事業者
アプリ	アプリや ミドルウェアを 中心に幅広く サービス提供		
ミドルウェア			
ITインフラストラクチャ (ネットワーク/サーバー)	付随して担当	インフラ市場の パラダイムシフトで、 専門特化型サービスの 需要が増大	付随して担当
通信工事			機器設置及び 配線工事、基地局等

※アプリ(アプリケーション)：基幹業務システム (ERP) やWEBアプリ、スマートフォンアプリなどのユーザが操作する部分、グループウェア(Office365)、AI・機械学習、Java・C・Pythonなどのプログラミング言語を用いて開発を行う。
※ミドルウェア：アプリケーションとOSの間で動作するソフトウェア、Oracle Database/WebLogic・Apache HTTP Serverなど。
※通信工事：屋内のLAN配線や基地局設備の建設、機器設置等

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社に関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

baudroie inc.